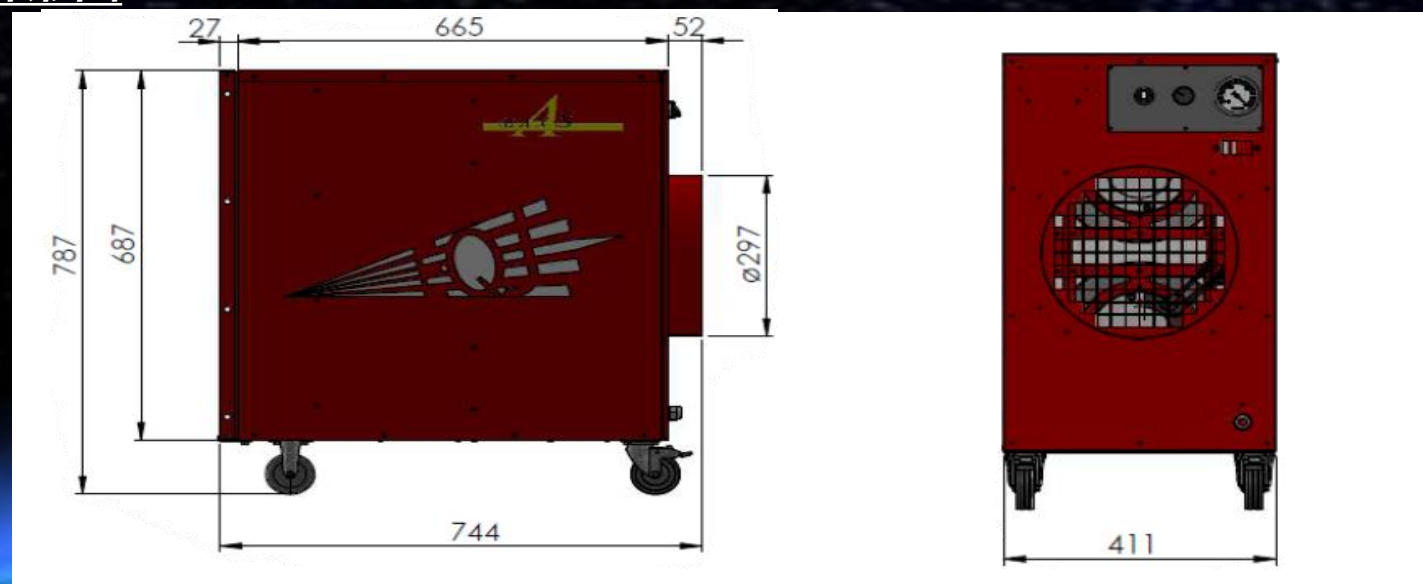


仕様

処理風量	0 ~ 75 m ³ / min	予定
外形寸法	W 411 × H 787 × D 744	予定
排気口	297 mm	
1次フィルタ	305 × 610 × 47 mm <ASHRAE質量法73%>	
2次フィルタ	305 × 610 × 47 mm <JIS比色法65%>	
HEPAフィルタ	305 × 610 × 292 mm	
捕集効率	99.97% OR 99.995%	
電力規格	100 V / 50 Hz <東日本対応>	
消費電力	7 A	予定
総重量	55 Kg	予定
本体材質	METAL	

MAX S

外形図



消耗品

備考

EQJ 株式会社

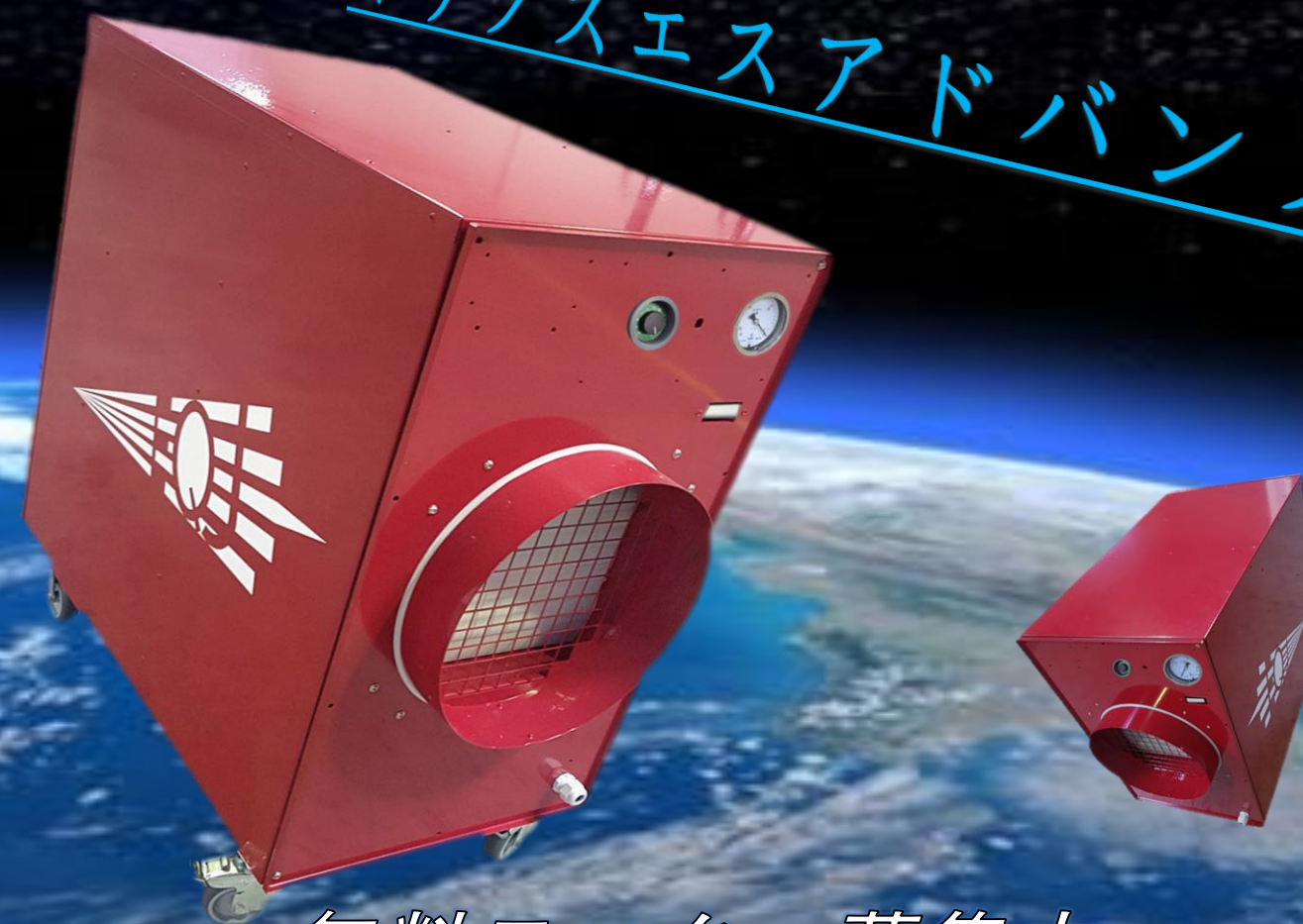
〒196-0002 東京都昭島市拝島町4-1-24
 TEL. 042-519-1574 / 042-541-9155
 FAX. 042-519-1647
 URL. <http://www.eqjapan.net/>

彗星の如く
 赤い奴が上陸する

空気浄化システム

MAX S

マックスエスアドバンス



無料モニター募集中

2019年8月より、モニター開始

現在、東日本と西日本で異なる電力周波数になったのは、明治時代にさかのぼります。
明治時代、東京の電力会社はドイツ製の発電機を積極的に輸入し、大阪の電力会社はアメリカ製の発電機を輸入しました。
その結果、関東から東の地域では50Hz、それより西の地域では60Hzの周波数が定着しました。
日本国内における有害物除去で使用されている負圧除塵装置の多くはアメリカ製の機械が使用されており、
これらの機械を50Hz対応地域で使用すると、電圧や周波数の違いによるトラブルが発生します。
そこで東京に屋号を構える当社は、電力の初心に戻り、ドイツ製ファン【50Hz対応型】を搭載してみました。

何をするにもスケールの大きい海外では、その国でコンパクトな機械であっても日本に入ってくると意外に大きかったりします。
そこで様々な動線状況を調べ、行きついたサイズが船舶の通路幅と出入口です。
船舶での有害物除去を想定し、作業員の皆様が無理なく機械を運び、的確に粉塵を回収できる3次元寸法を設計してみました。

ドイツ製ファン
50Hz対応型
コンパクトな設計
船舶の通路幅に
適合するサイズ

MAX-2-Advance
--103--



どんなにコンパクトな機械であっても、粉塵回収能力が小さければ、除去空間における機械占有面積が大きくなります。
また、今まで御使用している機械の性能以下では、買替購買意欲も薄れてしまう事でしょう。
そこで、この3次元寸法に搭載でき、より強力なファンをドイツ国内で探し、45m³/min以上を実現しました。

皆様が御使用する機械の多くは、風量調整がHig & Lowの2段階切替になっています。
今回搭載するファン性能で、2段階切替にすると、多くの除去空間において、計画換気数量を大幅に超えてしまいます。
ことわざで「大は小を兼ねる」とありますが、大きすぎると、除去空間においては圧力差等によるトラブルが発生します。
しかし、適正換気数量に設定し、機械に余力を残すことにより、スムーズなフィルター交換や、フィルター目詰まり時の必要換気数量の回復、更には緊急時の対応等、様々なメリットが出てきます。
そこで、多くの機械で採用されている2段階切替を改め、自由に風量を調整できるリニア式調整ダイヤルを採用しました。

重量2kg
モーター
モーター